



あなたの情報(つまりウェブサイト)に書き込まれた、場所や日付など、あなたの名前、メールアドレス、そしてあなたの写真をオーストラリア政府南極局のオーストラリア海洋哺乳類センター(AAMMC)に提出すること(英語のみ)に書かれた契約条件に同意したことになります。

あるいは、ウェブサイトとしてダウンロードし、あなたのクジラ目視について記録し、後でアップロードすることもできます。

www.marinemammals.gov.au/sorp/sightings

撮ったデジタル写真は、私たちのオンライン・クジラ目視レポート・ウェブサイトからアップロードしてください。

クジラを見つけたら

大型クジラの個体識別写真の撮り方

クジラの体色、尾、尾ビシ、そして傷跡が、人間にとっての指紋のようクジラの各個体を判別するのに使われます。

常に太陽があなたの背後にあるときに撮影するように努力してください

動いているクジラを撮るときには、シャッタースピード1000-2000または"スポーツ/アクション"モードを使ってください

カメラの絞りは11か、より高く設定してください(より大きな被写界深度が必要のため)。ISO設定は400か800かベストです

日付、時間、そして場所(緯度/経度)を記録してください

何頭のクジラがその場にいたか、そして何頭のクジラを撮影したかを記録してください

それぞれの日付/撮影記録と、どの写真が符合するのかを明確に書き留めてください

アップロードの際、写真をJPGの5MB以下に落とさないでください



© Kylie Owen/AAD

クジラを見つけてください



© Kylie Owen/AAD

www.marinemammals.gov.au/sorp/sightings を参照してください。(英語のみ)



© Paula Olson

シロナガスクジラ — 背びれ近くの背中(横から)



© Robert Pitman

シャチ(オルカ) — 背びれと背中の中のマーク



© A.D.

ザトウクジラ — 尾びれ



© DFPWE

ミナミセミクジラ — 頭部隆起物*と傷跡

サウザン・オーシャン・リサーチ・パートナーシップ(SORP=ソー
プ)は、国際的な鯨類研究者の集まりです。南極海の鯨類について、
写真による個体識別、遺伝学や衛星標識などの非致死の
(クジラを殺さない)方法で調査しています



私たちは、国際調査のカタログに加えるための南極海のクジラの写真
を探しています。

特に:

- シロナガスクジラ — 背びれ近くの背中(横から)
- シャチ(オルカ) — 背びれと背中の中のマーク
- ザトウクジラ — 尾びれ
- ミナミセミクジラ — 頭部隆起物*と傷跡

それらの写真により、それぞれのクジラ個体が識別され、またそれによっ
て各クジラ種の移動や推定生息数を調べることができます。

写真識別されたクジラ個体のカタログや、写真識別の技術については、

www.marinemammals.gov.au/sorp/sightings
を参照してください。(英語のみ)

*頭部隆起物(カロシティ)とは白/灰色まだらの皮膚で、ミナミセミクジラの頭部に独特なパターンを作り出しています。



